

行橋市防災マップ

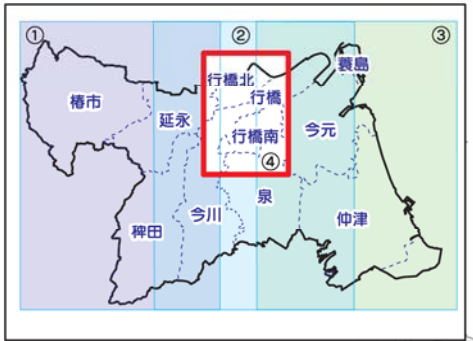
【④：中心部拡大版】

洪水による浸水深の凡例

大雨で河川から水があふれたときに想定される浸水深を色別に表示しています。水深の目安はおよそ次の通りです。自分の家をイメージしてください。

浸水深	水深の程度
5.0m以上	2階の軒下を超えて浸水する程度
2.0~5.0m未満	2階の軒下まで浸水する程度
1.0~2.0m未満	1階の軒下まで浸水する程度
0.5~1.0m未満	大人の腰までつかる程度(床上浸水)
0.5m未満	大人の膝までつかる程度(床下浸水)

※行橋市内で5.0m以上の浸水深は想定されていません。



行橋市指定避難所	防災に関する施設等	要援護者施設
第1次避難所	水位観測所	障がい者福祉施設
第2次避難所	雨量観測所	高齢者福祉施設
	郵便局	保育園・託児所
	コンビニ	児童クラブ
	集会所(行橋市集会所条例に基づくもの)	幼稚園
	公共施設等	
	避難時に注意を要する箇所	
	アンダーパス	
	重要水防箇所	

防災マップについて

- この地図は、福岡県が公表した浸水想定区域図や土砂災害危険箇所図をもとに、大雨などにより、河川がはん濫した場合における浸水の範囲や、土砂災害の範囲、避難所などを示した地図です。
- 浸水想定は、今川水系今川がおよそ75年に1回程度起こるといわれる大雨、長門川水系長門川がおよそ50年に1回程度起こるといわれる大雨、長門川水系長門川・小波瀬川がおよそ30年に1回程度起こるといわれる大雨により、一部がはん濫した場合に浸水が想定される区域や浸水の深さを色で表示しています。
- 実際の河川はん濫の範囲や深さ、土砂災害危険箇所の範囲については、想定と異なる場合があります。また地図に示した範囲以外でも想定を超える集中豪雨などにより、浸水や土砂災害が発生することもありますので十分注意してください。
- いざというときに備え、あなたの家から避難所までの経路を書き込んで、目につく身近な場所に保管しておきましょう。
- 浸水などの災害の危険が迫ったとき、行橋市から避難準備情報、避難勧告、避難指示を出しますので、この地図を参考に速やかに避難してください。

